

# 鹿児島市立西谷山小学校

## 1 環境委員会の取組



ダンボール箱の回収



スイッチ・オフ



じゃ口の確認

<p>私たちが活動する中で、学校でたくさんのダンボール箱が集まります。リサイクル活動をするのは、環境によいと思うので、この活動をして大変よかったですと思います。</p> <p>電気は石油から生み出されており、私たちが1秒でも1分でも長く電気を付けっぱなしにすると、石油をたくさん使うことになっていきます。石油は無限にあるわけではないので、常に「最後には必ず消す」など「省エネ」を意識するようになりました。</p> <p>私は、この活動の中で「こんなことをしたらもっと環境によいかも」「こうしたらみんな協力してくれるはず」と日々思いながらやっています。「これがなくなったら大変だ。」と思う資源を守り、どんなに小さいことでも環境によいと自ら気付けるすばらしい活動だと思います。</p>
--

## 2 学校の環境への取組

<環境エコチェックカード> 週末、帰りの会で反省をしましょう。

	環境行動計画	1学期	気付いたこと（担任より）
1	教室・トイレなどの照明は、使っていない時は消す。	2. 7	概ね良好・身近なところから。
2	水道のじゃ口は確実にしめる。	2. 6	概ね良好・身近なところから。
3	ごみの分別をしっかりとる。	2. 4	分別スペースの問題。
4	給食はできるだけ残さない。	2. 2	低学年は食べきれぬ量の工夫。
5	校舎や校庭をきれいにする。	2. 4	清掃活動の充実へ



雨水の利用



ゴミの分別



水を大切に

◇私たちは、ふだん水をあたり前のように使っている。だが、じょうすい場の人話では、地球上にある水のうち、私たちの生活に使える水は、わずか0.01~0.02%だというのだ。水を節約するためにどんなことができるだろうか。水道のじゃ口をきっちりしめる。バケツに水をためてぞうきんを洗うなど。できることから始めたい。（4年社会科「水はどこから」の学習を終えての児童の感想）